

置き薬講習に登録販売者講習を導入した成果

発行：日本置き薬協会 事務局

置き薬医薬品販売士講習に、登録販売者協会主催の同講習を導入する本年度からの取り組みについて、2会場の集合研修が終了したので、その実施状況について報告する。

昨年まで9回にわたり毎年開催された集合研修は連続する2日間に、薬学関連を12.5時間、特定商取引法関連を1時間、薬害被害者講習関連を1.5時間、合計15時間受講するものだった。今年は薬学関連を登録販売者研修に切替へ12時間としたため、特定商取引法関連を1.5時間とし、合計時間は同じとしている。

薬学関連の研修カリキュラムは、従来は既存配置従事者の業務に合わせた内容であった。今回より導入の登録販売者研修では、そのカリキュラムの「店舗での対応」、「店舗用の1類も含めた2類、指定2類医薬品」、「食品等の取扱い情報」、「薬局を含めた医療状況の進展情報」などは、既存配置従事者は関わらない、関われない、関わり難い分野のものである。

しかしながら、一般用医薬品販売の主体となった登録販売者の方々と、同一の研修内容を受講するのは、既存配置従事者が同一の知識、情報レベルの視点を得ることに繋がり、大変意義のある事と実感している。以前、特殊な日本の携帯電話を揶揄する「ガラケイ」をなぞり、ガラパゴス状況の配置薬業を「ガラハー」と自嘲気味に本紙に書いたが、置き薬協会の置き薬研修はその域を脱したのでは、と思うところである。

以下、本年の集合研修の概要について記す。

- ① 10月22～23日 新潟県南魚沼市 サンライズ南魚沼
28年度前期・後期登録販売者資質向上研修 川嶋光太郎氏
薬害被害者講習 森戸克則氏「血友病 HIV HCV と共に生きる～薬害エイズから」
特定商取引法講習 松崎俊一氏
- ② 11月5～6日 東京都港区 薬業共同事務所会議室
28年度前期・後期登録販売者氏七向上研修 高橋伊津美氏
薬害被害者講習 勝村久司氏 「薬害被害の実情と背景～陣痛促進剤被害・サリドマイド薬害を中心に」
特定商取引法講習 木村嘉子氏（東京都消費生活総合センター）
「訪問販売での配置薬とサプリメント販売の注意点」
- ③ 12月9～10日 群馬県高崎市 高崎市総合福祉センター
28年度前期・後期登録販売者資質向上研修 川嶋光太郎氏
薬害被害者講習 栗原 敦氏 「MMRワクチン問題」（仮）
特定商取引法講習 群馬県消費生活センター所員

本件に関するお問合せ先

日本置き薬協会 事務局

〒332-0034 埼玉県川口市並木2-30-6

TEL. 080-6789-6165 FAX. 048-251-9657